

# BALL TEST DATA

【セールス資料】

**BALL NAME:** “TECHNO THEORY”

**COLOR :** BLUE / BLACK / WHITE

**COVER STOCK:**INSIGHT PEARL REACTIVE

**RG :** 2.49 (MED-LOW)  $\Delta$ RG:0.058(HIGH)

**FACTORY FINISH:**1500-Grit Polished

**TRACK FLARE POTENTIAL:**7+(HIGH)

**BACK END:**19 (1-20) MAX LENGTH : 16 (1-20)

|   |        |       |        |       |
|---|--------|-------|--------|-------|
| O | LONG   |       |        |       |
| I | MEDIUM |       |        |       |
| L | SHORT  |       |        |       |
|   |        | Light | Medium | Heavy |

適正レーンコンディショニンググラフ

【MEDIUM OIL 編】

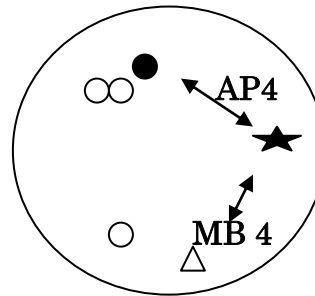


平成 23 年 8 月 9 日

©CROWN レイアウト例

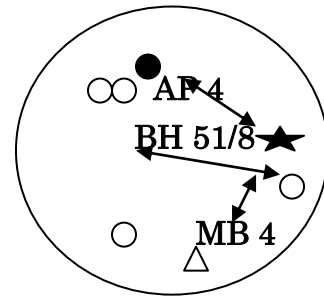
CRITICAL THEORY

TECHNO THEORY



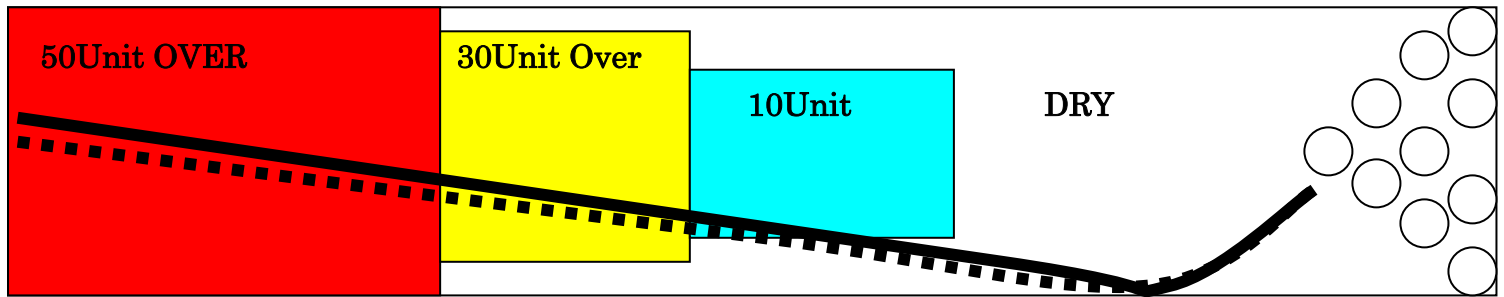
CA52 度

フル幅 最大 63/4 ・ 間隔 1/8



CA52 度

最大 6 3/4 ・ 間隔 1/8



0F

15F

37F

40F

比較品ライン

TECHNO THEORY

CRITICAL THEORY

【レーン状況】 ベースメンテナンスはツインスターで作成。15F まではスプレーでオイルを增量し、50 ユニット以上。ドレッシング距離 37F のミディアムコンディションで、バックエンドは手拭きでクリーニングしたドライな状態。

【製品比較表】

|         |   |   |   |   |   |        |     |     |   |   |   |   |      |
|---------|---|---|---|---|---|--------|-----|-----|---|---|---|---|------|
| 曲がり度    | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 曲がり方   | アーク | 1   | 2 | 3 | 4 | 5 | シャープ |
| スキッド    | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | オイルの強さ | 1   | 2   | 3 | 4 | 5 |   |      |
| ピンアクション | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | テスト品   | ○   | 比較品 | △ |   |   |   |      |

\*上記の数字は、1側が少ない(短い・弱い) 5側が強い(大きい・長い)

【ボール総合評価】

バックエンドの動きを意識した製品。転がりながらの直進性能は、オイルの厚い部分と薄い部分の差を感じさせず、適度なキレがセオリーならではの使い易さと安定性を見せます。また、ボールの動きに対してピン飛びが良いです。失投をカバーしてくれる感じで、転がり感が強い製品の特徴を遺憾なく発揮しています。

【ここが POINT】

セオリーシリーズの評価が高い理由は、先ずどんなボウラーが使用しても満足度が高い事。次に対応するレーンコンディション幅が多い事でしょう。安定性を重視した製品は多くありますが、バックエンドの動きとピン飛びを課題に残す製品が見られます。しかしテクノセオリーは、柔らかいアクションをする分タップ率が少ないようです。表面素材(パール)の割にオイルに強いと感じる様に、コアの強い転がりが素晴らしいピン飛びに繋がっているのでしょうか。ボールの全体的なバランス、総合的な性能は非常に高く感じました。

